

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和5年3月2日（木）16時00分～17時00分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

木原室長補佐、安部室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社 担当2名（テレビ会議システムによる出席）

株式会社テプコシステムズ 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 原子力規制庁は、2022年12月20日の第34回東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（以下「事故分析検討会」という。）で報告された「3号機の水素爆発に寄与した漏えい経路と爆発メカニズムの推定」に関し、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）とテプコシステムズに対し、解析で用いられた詳細な物理モデル（凝縮モデル、乱流モデル等）の妥当性、並びに解析において原子炉建屋の各階での燃焼可能性の時間変化について確認した。
- 東京電力並びにテプコシステムズから、上記に対して、物理モデルに関しては既往の大型実験装置で得られたデータとの比較により確認していること、並びに燃焼可能性の時間変化に関しては水素—空気—蒸気の三角図を用いた説明を受けた。

6. 資料

- 東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（第34回）資料2

<https://www.nra.go.jp/data/000414333.pdf>

以上